第447回
一橋大学
開放講座

相続×贈与の経済学

超高齢社会の進展の中で、家計と事業の資産の世代間移転は増加を続ける一方、その課題は山積しています。今後20年で日本の中小企業の6割は、消えてなくなるとも言われています。今、何が起きているのか?マクロ経済に与えるインパクトは?そして経済活性化の知恵とは。資産の世代間移転の現状とその未来を考えます。



超高齢社会の資産移転

北村 行伸 氏
一橋大学経済研究所教授

親から子に相続される資産の移転額は年間約80兆円。しかし、手続きが行われないまま、権利者だけがネズミ算的に増え放置された土地は、九州がすっぽり入るくらいになるといいます。急速な高齢化の進展の中で、想定してこなかった問題が起こっています。資産の世代間移転がもたらすインパクトを考察します。

事業承継 新たなカタチ
―中小企業にお金を流すということ―



吉村 元久 氏（63商）
㈱ヨシムラ・フード・ホールディングス代表取締役CEO

中小企業が多い食品業界をターゲットに、事業承継に悩む企業に資本を投入、グループ化し価値を高めて、成長させていくという独自の事業モデルで、急成長を遂げる姿に注目が集まっています。中小企業がもっている潜在的パワーを引き出すことで可能となる、日本経済の新たな進路を提起します。

2018年10月31日（水） 18:00～20:00　参加費 無料

如水会館2F　オリオンルーム

お申込み

如水会公式ホームページから▶ 講演会・セミナー

FAXから▶ 03-3262-2150
（講座名、氏名、ふりがな、会員番号、電話番号を明記してください）

↑携帯QRコード

お問合せ

一般社団法人如水会
TEL: 03-3262-0126
E-mail : seminar@josuikai.info